

下野市立南河内中学校

1 学校課題

思考力・判断力・表現力を育成する言語活動の充実
～ 自分の考えを持ち表現できる生徒の育成 ～

2 研究計画

(1) 研究のねらい

本校の目指す学校像は、「生徒一人一人が生き生きと活動する学校」「生徒が『今日も楽しかった。明日も頑張ろう。』と思える学校」である。そのために、日々の生活の中で生徒が自分の考えを持ち、表現できること、またコミュニケーションを取り合いながら、より豊かな学校生活を築こうとする意識を持たせることが重要である。

(2) 計画 及び 実践

時 期	研 修 会	研 究 ・ 研 修 内 容
4, 5月	研究推進委員会 全体研修会（職員研修）	本研究計画の立案・検討 学校課題共通理解 「自分の考えを持ち表現できる」についての考え方
6, 7月 7月	教科部会, 学年部会 小中合同研修会	教科における言語活動, 表現について 各教科の系統性 南河内地区児童生徒の実態に応じた教科指導
8月	全体研修会（職員研修）	研修報告 「自ら学び自ら考える力の育成と評価」他
9月	全体研修会（S&U）	講話「言語活動の充実と授業研究のあり方」 講師 宇都宮大学教育学部教授 松本 敏 先生
9月	授業研究会（要請訪問）	松本先生による全教職員の授業参観 社会科3年 研究授業 奥山 雄宏 教諭 指導者 下野市学校教育課指導主事 高橋 修一 先生
10月	生徒による授業評価	授業評価集計結果の考察
11月	教科部会	教科における表現力・学力向上対策の検討
11月	全体研修会（職員研修）	研修報告 「思考・判断・表現の力を育てる言語活動」 東京女子体育大教授 田中 洋一 先生の講話より
12月	公開授業研究会	国語科1年 研究授業 福田 かおり 教諭 講話「言語活動の充実による学力向上について」 講師 宇都宮市立泉が丘中学校教諭 菊池 洋二 先生
2月	研究推進委員会	本研究のまとめ

3 研究実践内容

各教科における、「自分の考えを持ち表現できる姿」、「思考力・判断力・表現力を育成する言語活動」を具体化し、授業実践を積み重ねる。また、昨年までの研究「自己評価方法の研究」と関連させ、生徒個々の学びを振り返ったり、まとめたりさせる。また、生徒による授業評価アンケートを継続し、授業改善の手立ての一つとする。

(1) 全体研修会 から

① 8 / 3 0 (金) 研修報告 「自ら学び自ら考える力の育成と評価」 他



研修内容を報告する。(教師の表現活動)

研修での学びを共有し、自己の研究に活かす。



② 9 / 3 (火) S & U 講話 「言語活動の充実と授業研究のあり方」



「自信を持って考えを述べる生徒」

「発表者の表現」と「聴き手として育てている級友」



③ 9 / 1 8 (水) 要請訪問社会



書きたいことがイメージできました。書きます。考えがまとまっていきます。書きます。考えが深まります。表現が豊かになります。

授業での生徒、一人一人の姿について、見取りを話し合う。

④ 1 2 / 1 1 (水) 公開授業研究会



4 本年度の成果と課題

本年度も、生徒による授業評価アンケートを職員一人一人がよりよい授業づくりを研究するために活かすことができた。落ち着きがあり、与えられた課題に素直に取り組む本校生徒は、まだまだ伸ばすことができる。「自分の考えを持ち表現できる生徒」を育成するためには、何を考えさせ、何を学ばせるか、「ねらい」と「学びの活動」、「指導」と「評価」の循環をさらに研究していく必要がある。

また、「自分の考えを持ち、表現できる」状態は自己理解が必須である。自分を理解するための自己評価は、生きる力を育む上で大切なことであり、「自分の考えを持ち、表現できる」また「表現したいと考える」学び好きの生徒を育てていきたい。